

第 253 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2012 年 6 月 4 日(月) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 創立 30 周年記念棟大会議室「常念岳」

演 者: 丹根 一夫 氏

(広島大学大学院医歯薬学総合研究科歯科矯正分野 教授)

タイトル: 失われた口腔組織の修復・再生と機能回復を目指した

矯正歯科治療

矯正歯科治療の究極の目標は、患者自らの素材を用いて歯や顎骨のさまざまな不正を改善し、正しい口腔機能を回復することにあります。我々が扱う最も重症の不正は、口唇裂・口蓋裂(CLP)をはじめとする先天異常や顎変形症と思われれます。とりわけ、CLP 症例では歯や顎骨の先天的欠損があるため、難しい治療が求められます。これを少しでも容易に、かつ患者に大きな負担をかけないようにするため、歯や顎骨の自家移植が必要になります。また、外科的侵襲が大きい腸骨海綿骨細片移植をさらに低侵襲下で効率的に行うために、先進的な幹細胞移植治療も検討されています。さらに、最近では、患者の協力なしで歯の移動を効率的に遂行するためのマイクロインプラントをはじめとするさまざまな工夫がなされています。

本講演では、このような考えに立脚して行われた矯正歯科治療をご紹介しますとともに、最近のトピックスであるマイクロインプラントの応用についても触れてみたいと思います。また、最新の顎関節治療、顎変形症治療についてもお話しする予定です。さらに、臨床に直結する顎関節症の発症機序、組織・細胞の凍結保存、骨再生医療、マイクロインプラントの安定性と関連要因などについての研究をご紹介します、我々の教室員の努力の結果である研究・教育・臨床の実績について皆様の厳しい評価を受けることと致します。

担当: 臨床病態評価学講座 山田 一尋